



武者溜り

→ 敵の侵攻経路 → 守兵の攻撃方向

武者溜りの復元をめざして

上田城跡公園の旧市民会館や隣接する駐車場の周辺は、城を守るための兵を駐留させる「武者溜り」と呼ばれる場所で、江戸時代には三十間堀、土塁、石垣などがあったことが複数の絵図から分かっています。城の正面として重要視された、本丸の南櫓、北櫓、櫓門に続くこの一帯を、江戸時代の上田城の姿に近づけるため、現在、発掘調査を進めています。発掘調査の進捗状況など、市ホームページなどでお知らせしています。

最新情報は
こちら



上田城発掘調査

検索

<https://www.city.ueda.nagano.jp/site/uedajo/>

ふるさと寄附で 御支援をお願いします

上田城復元に向けて
ふるさと寄附金を活用させていただきます

Aコース

夢に向かって! 上田城復元プロジェクト

【活用例】上田城の櫓等城跡内の復元整備、
調査・研究など

寄附のお申し込みについてはこちらから▶



上田市の観光情報はこちら



ホームページ
「うえだトリップナビ」
各種 SNS



(一社) 信州上田観光協会

上田城の資料を 探しています!!

懸賞金の対象となる資料
櫓などの古写真・設計図・古文書など

募集期間

令和7年4月1日(火)から
令和8年3月31日(火)まで

懸賞金
総額 500万円



お問い合わせ

長野県上田市櫓復元推進室
上田市役所本庁舎 4階

✉ yagura@city.ueda.nagano.jp

☎ 0268-23-5403

本丸の櫓復元に向けて

長野県上田市では江戸時代の上田城をより多くの皆さんにイメージしていただけるよう、仙石忠政が再建した本丸7つ櫓のうち現在残っていない4つの櫓と櫓門、土塀等の復元を目指しています。上田城は国の史跡であるため、復元等を含む整備については文化庁の許可が必要となります。現在の基準では、復元にあたっては、その根拠となる資料として櫓の形が確実に分かる古写真や図面等が必要です。しかし、上田城では複数残されている絵図で7つ櫓や櫓門、土塀があったことが確認できますが、現在残っている南櫓・北櫓・西櫓以外の写真や図面が見つからないことから、引き続き懸賞金制度を設け広く資料の募集を行うことにしました。

江戸時代の上田城の姿を再現できるよう、皆様の御理解、御協力をお願いします。

お問い合わせ後の流れ

情報・資料の提供

市役所職員による内容確認

専門家等による審査※

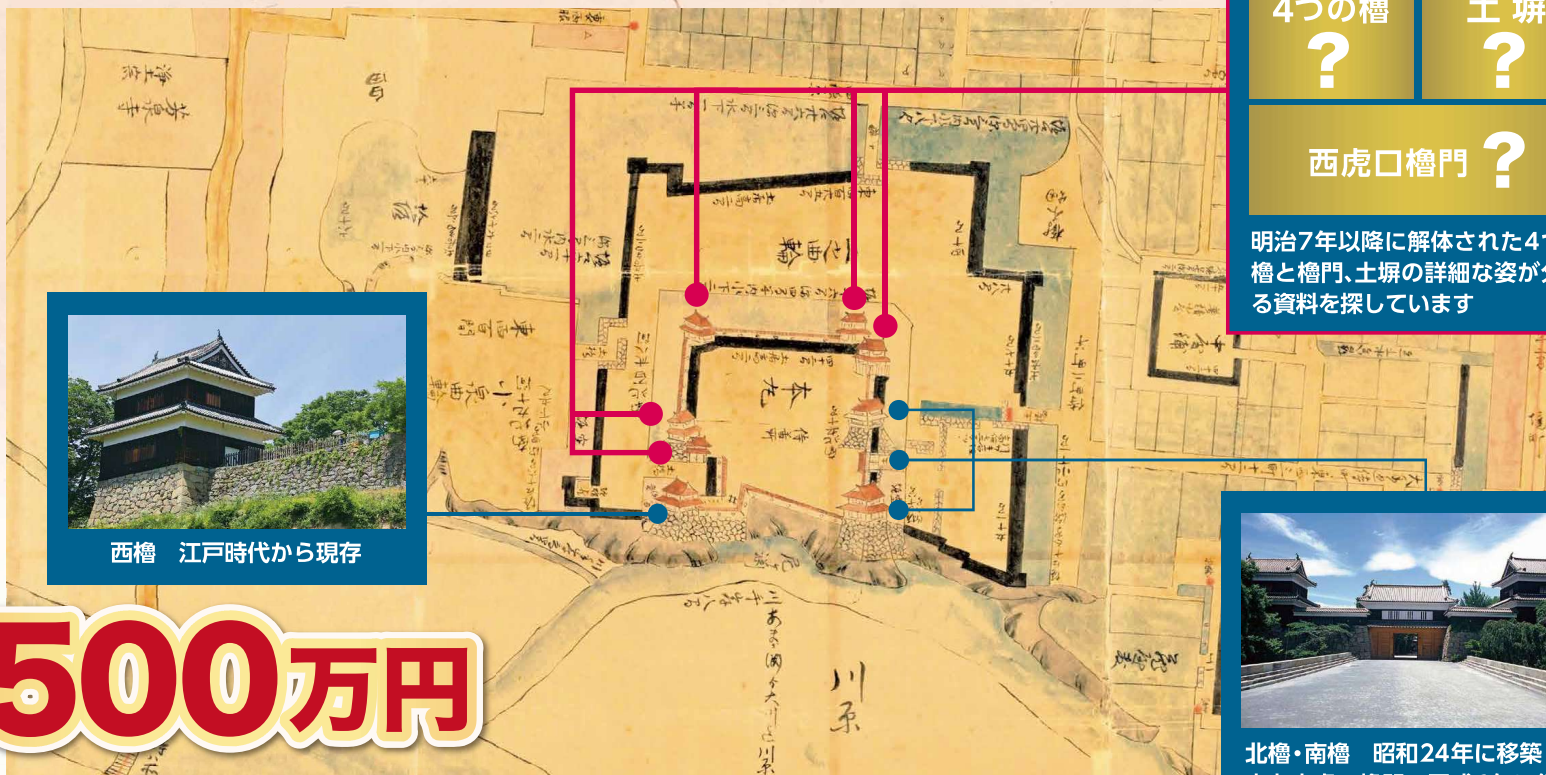
櫓の復元に資する
資料として認定※

懸賞金のお支払い

懸賞金 総額 500万円

※審査・認定には数年かかります。

上田城及び城下町之図[元禄15年(1702)頃の様子を描いた絵図]



4つの櫓
?

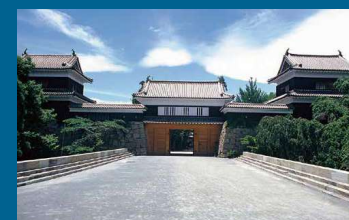
土堀
?

西虎口櫓門
?

明治7年以降に解体された4つの
櫓と櫓門、土堀の詳細な姿が分か
る資料を探しています



西櫓 江戸時代から現存

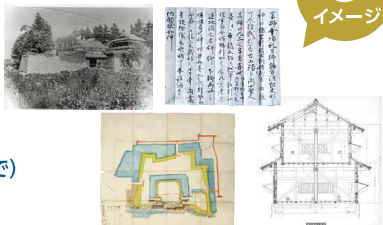


北櫓・南櫓 昭和24年に移築
本丸東虎口櫓門 平成6年に復元

古写真、古文書、絵図などの原本

【特に提供いただきたい情報】

- ・櫓が写っている古写真(明治初期)
- ・櫓の寸法が書き込まれた絵図、古文書
- ・櫓の立面図
- ・上田城跡内で撮影した写真(明治末期まで)
- ・櫓などの建物の移転先についての資料



イメージ



本のコピー、贋作、
CG、映像、
既知の資料



イメージ

年		上田城年表
天正11年 (1583)	真田昌幸が徳川氏の力を借りて上田城築城に着手。	このころの資料を探しています
天正13年 (1585)	第一次上田合戦 徳川軍の大軍に攻められるも退ける。	
慶長5年 (1600)	第二次上田合戦 徳川軍の大軍に攻められるも退ける。	
寛永3年 (1626)	関ヶ原合戦後に堀や石垣、建物などが破壊される。 昌幸の長男信之が上田藩主となる。	
寛永5年 (1628)	真田信之の後、上田藩主となった仙石忠政が上田城復興に着手。	
宝永3年 (1706)	仙石氏に変わり、松平氏が入城する。 上田城の復興が再開されることなく明治維新になり、廃城となる。	
明治7年 (1874)	上田城の堀下りが始まる。その後、西櫓以外の櫓などが取り壊される。	
昭和24年 (1949)	解体移築されていた櫓2棟が市民の寄附などにより買い戻され、城内に再移築される(現在の北櫓・南櫓)。	
平成6年 (1994)	古写真を基に本丸東虎口櫓門復元。	

上田城年表